積水ハウス・リート投資法人

2026年10月30日

各　位

不動産投資信託証券発行者名
積水ハウス・リート投資法人
代表者名　執行役員　大　谷　仁　誉
（コード番号：3309）
資産運用会社名
積水ハウス・アセットマネジメント株式会社
代表者名　代表取締役社長　藤　原　寿　光
問合せ先　経営企画部ＩＲ室長　齋　藤　孝　一
TEL. 03-6447-4870（代表）

TNFD提言に基づく自然関連情報開示に関するお知らせ

積水ハウス・リート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）は、TNFD（自然関連財務情報開示タスクフォース）提言に沿った自然関連情報を開示する意思を表明するため、「TNFD Adopter」に登録するとともに、同提言に沿った情報開示を行いましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. TNFD提言の概要

TNFDは、企業及び金融機関が自然資本への依存及び影響並びに自然関連のリスクと機会を把握し、情報開示や対応を行うための国際的なイニシアチブです。TNFD提言は、自然関連情報が企業及び投資家等のステークホルダーの意思決定に活用されることを通じて、世界の資本の流れを自然にとってより良い成果へつなげることを目指しています。

2. 「TNFD Adopter」への登録及びTNFD提言に基づく自然関連情報開示

本投資法人は、「自然資本の保全、人と自然の共生と資源環境への取組み」をマテリアリティとして掲げ、自然資本の保全と回復は、持続可能な社会の実現と投資主価値の最大化を図るうえで必要不可欠な要素であると認識しています。この認識のもと、事業活動における自然関連課題を適切に把握・管理するため、TNFD提言に沿った開示を行う意思を表明する「TNFD Adopter」に登録し、TNFD提言に沿った情報開示を行いました。具体的には、TNFDが提唱する「LEAPアプローチ」(注)に沿って、本投資法人の事業と自然環境との接点及び自然資本への依存と影響を特定するとともに、自然関連のリスクと機会を分析し、財務的影響を開示しています。

(注)「LEAPアプローチ」とは、「Locate（自然との接点探索）」、「Evaluate（依存と影響の診断）」、「Assess（リスク・機会の評価）」、「Prepare（開示準備）」の４つのフェーズからなる、自然関連課題を評価・管理するための統合的なアプローチです。

3. 本投資法人の今後の対応

本投資法人は、ESG（環境（Environment）・社会（Social）・ガバナンス（Governance））へ配慮した不動産投資運用を通じて持続可能な社会の実現に貢献することを目指しています。

本投資法人は、気候変動への対応と同様に自然資本の保全を重要な社会課題と認識しており、今後も継続的な分析と戦略的な対応を通じて気候変動及び自然関連リスクの低減と機会の最大化を図るとともに、透明性の高い情報開示とステークホルダーとの協働により、人と自然が共生する社会の実現に貢献していきます。

本投資法人のESGへの取組みの詳細については、本投資法人の「ESG特設サイト」をご覧ください。

以　上

※　本投資法人のウェブサイト：https://sekisuihouse-reit.co.jp/